参画企業

会員企業 **14** 社　総社員数 約 **3,800** 人　総売上高 約 **680** 億円　所在地 **12** 都道府県

（2024年度実績）

14社が一体となることで、大きなパワーを生み出します。

北海道

株式会社アイワード

〒060-0033
札幌市中央区北3条東5-5-91
TEL. 011-241-9341
FAX. 011-207-6178

宮城県

株式会社ユーメディア

〒984-0011
仙台市若林区六丁の目西町4-12
TEL. 022-288-6015
FAX. 022-288-6066

福島県

nisshindo 株式会社 日進堂印刷所

〒960-2194
福島市庄野字柿場1-1
TEL. 024-594-2211
FAX. 024-594-2041

新潟県

DI Palette
株式会社 DI Palette（ディーアイパレット）

〒950-8724
新潟市中央区和合町2-4-18第一和合ビル
TEL. 025-285-7161
FAX. 025-282-1776

長野県

カシヨ株式会社

〒381-0037
長野市西和田1-27-9
TEL. 026-251-0510
FAX. 026-251-0500

東京都

グラパックジャパン株式会社

〒131-0034
墨田区堤通1-19-9リバーサイド隅田セントラルタワー10F
TEL. 03-3616-1181
FAX. 03-3616-5012

東京都

欧文印刷株式会社

〒113-8484
文京区本郷1-11-6東接本郷ビル1・2・3階
TEL. 03-3817-5910
FAX. 03-5684-5688

東京都

株式会社 研文社

〒162-0802
新宿区改代町45
TEL. 03-3269-6331
FAX. 03-3269-6330

石川県

高桑美術印刷株式会社

〒921-8042
金沢市泉本町5-27
TEL. 076-241-5563
FAX. 076-244-3723

岐阜県

サンメッセ株式会社

〒503-8518
大垣市久瀬川町7-5-1
TEL. 0584-81-9111
FAX. 0584-81-9884

滋賀県

EINS アインズ株式会社

〒520-2573
蒲生郡竜王町鏡2291-3
TEL. 0748-58-8101
FAX. 0748-58-8170

京都府

タカラサプライコミュニケーションズ株式会社

〒612-8338
京都市伏見区舞台町1
TEL. 075-605-3330
FAX. 075-605-3316

愛媛県

SEKI セキ株式会社

〒790-8686
松山市湊町7-7-1
TEL. 089-945-0111
FAX. 089-932-0860

福岡県

ダイヤモンド秀巧社印刷株式会社

〒812-0064
福岡市東区松田3-9-32
TEL. 092-621-8711
FAX. 092-621-9459

アクセス
お問い合わせ

EPC-JAPAN事務局

〒104-6040
東京都中央区晴海一丁目8番10号
晴海アイランドトリトンスクエアオフィスタワーX 40階
TEL.03-5534-8341／FAX.03-5534-8342

都営大江戸線「勝どき」駅徒歩6分
東京メトロ有楽町線・都営大江戸線「月島」駅徒歩12分

2026年5月改訂

Excellent Printing Community

Excellent Printing Community of JAPAN
事業協同組合
EPC-JAPAN

Excellent Printing Community

そのネットワークに無限大のパワーを秘めて

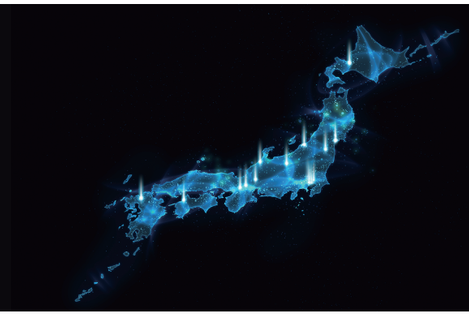
EPC-JAPANは、「変動する時代に対応する知識集約的産業として、豊かな社会の発展に寄与する（EPC宣言）」ことを目的に
け、地域社会において、あるいはクライアントの戦略の中で大きな役割を果てしてきました。
全国の中堅印刷企業14社が参画するEPC-JAPANの強みは、「ネットワークパワー」にあります。マーケティング、クリエイティ
成、事業継続計画等について、各社が成功事例や課題を持ち寄り、14社の経験とノウハウをもって最適解を探り、共有するこ
おいて進むべき方向性とそれを達する手段が明確になるからです。つながる力こそ、14社が根ざすそれぞれの地域の発展とク
2006年4月には、株式会社から事業協同組合へと組織変更し、官公需適格組合として認可されました。今後も私たちはそれぞ

※官公需適格組合／公共事業などの官公需の受注に対して意欲的であり、かつ受注した案件は十分に責任をもって納入できる経営基盤が整

1974年10月に誕生しました。以来、印刷産業のあるべき姿を問い続

ブ・ノウハウ、印刷工程の最先端技術、物流等コストの削減、人材育
とは、1社では得がたい貴重な知見となります。各々が向き合う市場に
ライアントの業容拡大に対する貢献を可能としているのです。
れの企業特性を活かしながら、ネットワークパワーの強化を図ります。

備されている優良組合の証。



EPC-JAPANの概要

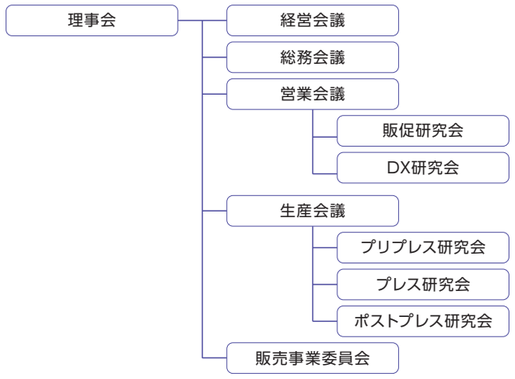
EPC宣言
CREATE & CULTIVATE

EPC-JAPANは、全国各地域の代表的な中堅印刷企業により、「変動する時代に対応する知識集約的産業として豊かな社会の発展に寄与する」ことを目的に共同体を設立しました。
われわれは、これからの印刷産業の在り方として、ただ印刷物を受注生産するという分野にとどまらず、時代の変化、要望に応じ、的確な情報にもとづき、専門的な立場から印刷媒体のみならず提案・設計・開発し、これを広く社会に提供していくという使命で邁進します。

1974年10月

EPCとは…「優れた印刷企業の共同体」を意味する英文の頭文字「Excellent Printing Community」から名付けました。

組　織



EPC-JAPANの組織
EPC-JAPANは最高意思決定機関である理事会のもと、各業務分野ごとに5の会議・委員会と5の研究会で構成されています。これらの組織には各企業から選出された従業員が組織を運営しています。

EPC憲章

EPC-JAPAN は、印刷を通じて豊かな社会の発展に寄与することを目的に 1974 年に設立されました。社会や市場が大きく変化するなか、これからも加盟各社が地域やお客様から求められる存在であるために、印刷の持つ可能性を、それぞれの目指す方向性や得意分野を生かして追求し続けることが必要です。
加盟各社の想いや実績が、長い年月をかけて築き上げてきた絆のもとで結集して大きな志となります。
設立 50 年の節目にあたり、今後の会の発展に資することを目的に EPC の特徴を明文化して本憲章を制定します。

創 の 絆　我々は、本会設立時の想いを受け継ぎ、世代を超えて築き上げてきた絆のもとで、印刷の持つ可能性を、それぞれの目指す方向性や得意分野を生かして追求し続ける。

情報交換　我々は、加盟各社の独自性を尊重しつつ、強固な信頼関係・守秘のもとで情報交換や事例紹介を行い、各社の円滑な経営そして事業発展に寄与することを目的として本会を運営する。

切磋琢磨　我々は、安易な共感を求めず、各々の信念やビジョンにもとづいて企業経営を行う。信頼関係があるからこその相談や直言を行い、相互刺激の中で個性を磨く。

現場主義　我々は、目的を持って各々の会社の現地視察を繰り返し行うことで変化を体感し、長期にわたって定点観測することによる情報分析結果を最大利用する。また、加盟各社間で生産設備や保有技術の積極活用など、1社では実現しがたい規模や機能の獲得を実現する。

2024 年 2 月

沿　革

1974年	10月17日全国中堅印刷会社企業グループ“EPC-JAPAN”設立、1974年発足
1977年	6月「EPC-タウン情報全国ネットワーク」発足
1982年	“ニューメディア”研究プロジェクト発足
1983年	研究開発プロジェクト「ワープロ-電算写植機」変換システム開発
1985年	総合画像処理（トータルスキャナ）共同研究着手
1986年	4月就職情報誌「LEAD」発行
1988年	「パソコン通信ネットワーク」開始、実施
1995年	NTT「マルチメディア通信の共同利用実験」参加・プロジェクト発足
1997年	EPCメンバー間におけるインターネット環境の整備・構築
2006年	事業協同組合EPC-JAPANの設立
2007年	第1回官公需適格組合※証明取得
2012年	特約代理店契約を開始
2021年	全ての組合員間でBCP協定書を締結
2023年	12月 事務所を台東区根岸から中央区晴海のトリトンスクエアに移転
2024年	2月 50周年記念式典・祝賀会を開催、EPC憲章を制定

EPC-JAPANのソリューション

課題を持ち寄り、解決を探り、改善を展開します。

クリエイティブ
CREATIVE

優れたスタッフの集積でクライアントの「欲しい」を形にするソリューション

プランニングからコピーライト、デザイン、イラスト、撮影に至るまで、EPC-JAPAN各社は優れたスタッフをそれぞれ擁しています。これらクリエイティブに関わるノウハウを共有するとともに、14社のネットワークを活用して全国レベルの情報を収集・分析することで、各社が抱えるクライアントの課題に対し、私たちは最も効果的な解決策を提案しています。また、地域特性や住む人の感覚に寄り添うコンセプトメーキング、プロモーションの企画立案・実施においても各々高い実績を上げています。

デジタル・プロセッシング
DIGITAL PROCESSING

新技術を駆使し、クライアントの戦略に最適なツールをもたらすソリューション

EPC-JAPANは、業界に先駆けてデジタル技術をベースとしたワークフローを構築するなど、プリプレスにおける新技術の導入を積極的に行うことで、効率的で質の高いシステムづくりを進めてきました。さらに進化著しい演算システムやソフトに即応しながら、クライアントのビジネス展開やプロモーションを支援すべく、最適なツールをご提供します。近年は特にPDFワークフローに力を入れています。ひとつのPDFデータを使って校正も入稿も行うことで、スピードとコスト両面で優位になるだけでなく、クライアントの利便性も飛躍的に向上します。

プロダクティブキャパシティ
PRODUCTIVE CAPACITY

新たな技術要求も共有し印刷現場作業を支援するソリューション

EPC-JAPANに参画する14社は、それぞれに優れた印刷技術を有します。高品位印刷や特殊印刷・加工など各社が得意とする技術の多様性は、共同体として私たちが対応できる表現の幅の広さです。また、環境に優しい印刷やJapan Color認証への対応、表面加工、AIを搭載した最新印刷機の導入など、いま印刷業界に求められているあらゆる技術課題について膝を突き合わせて議論し、その成果を各社が持ち帰り、個々の印刷現場における改善活動や技術・ノウハウの蓄積に役立てています。

BCP
BUSINESS CONTINUITY PLAN

各地に散在するネットワークを強みに互いの安定的操業を図るソリューション

14社が全国各地に所在していることも、EPC-JAPANの強みです。万が一共同体の一員が事業継続の危機に瀕しても、すぐに他の参画企業が補完できるよう、各社が一定基準内で安定した品質の印刷物を作成できる工程管理能力を身に付けるとともに、日常的に仕事を依頼し合うことで、共同体内部で助け合い、事業を継続できる体制を整えています。

人材育成・教育支援
HUMAN RESOURCE DEVELOPMENT

企業個々の成長の鍵を握る人材育成とネットワーク強化に向けたソリューション

人的資源は最も重要な経営資源であり、人材の成長が組織の成長の鍵を握ります。一方で、企業が単独でできる人材育成には限界があるのも事実です。
EPC-JAPANでは、階層別・テーマ別研修を共同で実施することにより、より多くの社員が参加できる規模となり、幅広い視野と高いスキルを求める研修が実現できます。さらに、研修で共に学んだ各社の社員からなる、さまざまな年齢、職能ごとの人的ネットワークは、新たなビジネスの芽を育む大きな力となっています。

ビジネス戦略
BUSINESS STRATEGY

各々の市場で試した武器に磨きをかけビジネスの新機軸を開くソリューション

EPC-JAPANには、企業規模も得意とする技術も戦う市場も異にする印刷会社が全国から集まっています。各社が事業を展開するうえで抱える課題は、表面的には違っているようでいて、学び合うべきことは数多くあります。様々な成功事例を各社の市場で共有し、各社のノウハウを活用した打開策を導いています。
EPC-JAPANの多様性は、印刷ビジネスの新機軸を私たち自ら創造していくために欠かすことのできない原動力です。